

担当科目	社会福祉 子ども家庭福祉 子ども家庭支援論 社会的養護Ⅰ 社会的養護Ⅱ 社会福祉特論 家庭問題特論Ⅱ 環境と健康 社会生活と健康 基礎演習 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 社会福祉概論（山梨学院大学健康栄養学部）
専門分野	社会福祉学
現在の研究テーマ	多職種連携実践/多職種連携教育（IPW/IPE） ソーシャルワーク（地域・司法・保育・高齢者・医療・貧困・災害）
競争的資金等の研究課題	権利擁護業務における円滑な法福連携システムの構築 （科学研究費基盤研究（C）：2026年～2009年：研究代表者） 若年層の自殺予防に必要な「助けを求める力」を醸成するためのロジック・モデルの検討 （科学研究費補助金基盤研究（C）：2023年～2027年：研究分担者）
所属学会	日本公衆衛生学会 日本保健医療福祉連携教育学会 日本社会福祉学会 日本保健福祉学会 日本社会福祉士会 山梨県社会福祉士会
メッセージ	専門職として「人を援助する」とはどのようなことでしょうか。社会福祉学では、専門職としての対人援助業務に求められる高度な知識や技術、価値や倫理について学びます。また、他の専門職との円滑な連携も重要です。みなさんが素敵な対人援助の専門職となれるよう、一緒に取り組んでいきたいと思います。
教育	
2025年4月～2026年3月	
教育方針	実践と理論の循環を意識し、円滑な多職種連携ができる保育者の養成
授業	<p>授業の工夫</p> <p><社会福祉> 保育者がなぜ社会福祉を学ぶ必要があるのかについて事例等を用いて説明したり、社会生活におけるニュースについて新聞記事を活用してリアルタイムに取り上げ、社会を身近に感じ、問題提起する考え方ができるよう、アクティブラーニングを積極的に取り入れた。また、保育の知識や技術だけではなく、多職種と円滑に連携しながら実践ができるよう、多職種連携教育にも取り組んだ。</p> <p><子ども家庭福祉> 子どもや家庭を対象に相談援助を実践する専門職の基礎として、子ども家庭福祉分野全般の基本的な知識の獲得を目指した。毎週新聞記事を用いて、現代社会における子ども家庭に関する社会問題を取り上げ、日常の社会生活の身近な話題に関心を持った上で、その問題が目の前の子どもや家庭にどのように影響するののかのシステムの視点から授業を構成した。</p> <p><子ども家庭支援論> これまで学修した知識を活かし、子どもや家庭を取り巻く問題についてどのように対応すべきか、多くの事例を用いながら方法論についてグループワークを取り入れながら実施した。全員で福祉カルタを作成し、ホールでカルタ大会を開催する等、保育実践と循環させながら学問の理解が深まる工夫を行った。</p>

教育（つづき）	
2025年4月～2026年3月（つづき）	
授業（つづき）	<p>授業の工夫（つづき）</p> <p><社会的養護Ⅰ> 保育士の活躍の場は保育所だけではなく、他の児童福祉施設も多岐に渡ることを周知し、「養護と教育を一体的に行う」保育士の「養護」の部分に焦点を当てて学修を深めていった。社会的養護における基本的な知識の獲得を目指し、毎回の授業内で個人ワークを取り入れ、考える時間を確保しながら双方向の授業構成を目指した。</p> <p><社会的養護Ⅱ> 社会的養護における応用的な内容を中心に取り上げた。毎回の講義では事例を活用し、これまで学修した知識をもとに、対人援助の専門的な方法について考える構成とした。また、社会的養護におけるソーシャルワークの必要性について、グループで検討する等のアクティブラーニングを積極的に取り入れた。</p> <p><社会福祉特論> 保育士を取得している学生のレベルアップを目指して、地域社会で実際に発生している社会問題について、新聞記事を活用しながら理解を深めた。地元の新聞社と連携し、NIE教育も行いながら、社会問題の理解とソーシャルアクションについて、グループごとに検討し発表を通じて、多角的な視点の獲得につなげた。</p> <p><家庭問題特論Ⅱ> 保育士を取得している学生のレベルアップを目指して、家庭問題を多角的に捉えられるよう、保育者に身近なツールである絵本を活用して、様々な視点から家庭問題の理解を深める工夫をした。個人ワークで作成した資料を全員発表して共有することで、多くの視点の獲得につなげた。各自が作成した資料はクラス全体で社会資源として開発した。</p> <p><社会生活と健康> 栄養士がなぜ社会福祉を学ぶ必要があるのかについて、栄養に関する社会課題が身近にあることがイメージできるよう、実際の事例を活用することで、わかりやすい内容となるよう工夫した。また、社会福祉の視点を持った栄養士の活躍が理解できるよう、社会福祉の各分野（高齢・障がい・児童・貧困・医療）の栄養に関する事例を紹介したり、現場で実践をしている栄養士のインタビュー映像を教材として作成し、理解を促した。</p>
	<p>授業改善のための取組</p> <p>最新の社会的課題をリアルタイムに取り上げられるよう、常にテーマに関連する学会や研修会等に積極的に参加して情報収集に取り組んでいる。また、現場の実践に即した事例を提供できるよう、テーマに沿った対象者に取材をし、最前線の現場の実践内容を学習テーマと関連させながら教材の作成に取り組んでいる。学生にはリアクションペーパーを記入してもらい、データを分析して期待に沿う授業内容とできるよう修正している。</p>

教育 (つづき)		
2025年4月～2026年3月 (つづき)		
ゼミ	ゼミ活動 (卒業演習) (修了研究)	学生一人ひとりとのラポール形成を意識し、学生のテーマがより深められるよう、内容について協働して学修し助言できるよう努めた。また、学生をエンパワメントすることで継続して取り組めるよう支援した。
	卒業レポート・ 修了研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 難聴児と手話の関係 ・ 少子化と子育て支援制度による関係性 一子育て支援の課題と展望 ・ 現代社会における子どもの心の健康の問題と 教育者が行うメンタルヘルスについて ・ 子どもの言語獲得には人的環境、物的環境が重要であるのか ・ 乳児院や児童養護施設における職員の関わりが、 被虐待児とその保護者に与える影響 ・ 児童虐待の早期発見における保育士の役割と課題について ・ こどもの貧困とこども食堂 ・ 児童虐待から子どもを守るための早期発見と関わり方について 一保育者と一時保護所の視点から ・ 子育て支援の現場から見る、母親が孤立しやすい背景と保育利用の壁
課外活動	チアリーダー部顧問	
2025年3月以前		
主な教育業績	—	

研究		
2025年4月～2026年3月		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（著書） 事例で楽しく学ぶ 子ども家庭福祉 （共著）	2025年 8月	中央法規出版 <担当部分> 第7章「子ども家庭福祉の専門職」のうち、「さらに詳しく学ぶ：こども家庭ソーシャルワーカー」
（学術論文） <u>査読付き</u> 保育士養成校学生における社会福祉の理解に向けたNIE活用の可能性 （共著：筆頭）	2026年 3月	山梨学院短期大学研究紀要 第46巻
（学術論文） <u>査読付き</u> 保育士養成校学生における社会福祉の理解に向けた新聞活用の実践 （共著：筆頭）	2026年 3月	山梨学院短期大学研究紀要 第46巻
（その他：学会発表） 保育士養成校学生における社会福祉の理解に向けたNIE活用の可能性 （共同：筆頭）	2025年 11月	第21回山梨社会福祉実践学会ソーシャルワーク実践研究発表会（山梨）
（その他：学会発表） 子どもへの虐待に関する研究の傾向 （共同：筆頭）	2025年 10月	第84回日本公衆衛生学会総会（静岡）
（その他：学会発表） 権利擁護活動における司法書士の法福連携に対する認識 （共同：筆頭）	2025年 10月	第18回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会（東京）
（その他：学会発表） 保育士養成校学生における社会福祉の理解に向けた新聞活用の実践 （共同：筆頭）	2025年 10月	第73回日本社会福祉学会秋季大会（京都）
（その他：学会発表） 社会福祉学の理解に向けた絵本を活用した実践とその省察 （共同：筆頭）	2025年 9月	第38回日本保健福祉学会（新潟）

研究 (つづき)		
2025年3月以前 (主なもの)		
タイトル (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(著書) これからの地域看護学 (共著)	2025年 3月	朝倉書店 <担当部分> 第2章「健康生活支援の基盤」のうち、 「健康と Well-being」、「国際生活機能分類 (ICF) とノーマライゼーション」
(著書) 栄養士・管理栄養士をめざす人の社会福祉 (七訂) (共著)	2025年 3月	株式会社 みらい <担当部分> 第12章「保健・医療・福祉に関わる 専門職—専門職倫理と多職種連携—」
(著書) 大学コンソーシアムやまなし 未来の学び (小学生のための生涯学習講座) (共著)	2023年 3月	学研出版 <担当部分> 地域の暮らしを住みやすくデザイン しよう～社会福祉の考え方から～
(学術論文) <u>査読付き</u> 管理栄養士養成校学生の「社会福祉」の学修 を通じた学びの変化 (単著)	2025年 3月	山梨学院短期大学研究紀要 第45巻
(学術論文) <u>査読付き</u> 司法書士との連携に関する地域包括支援セ ンター社会福祉士の認識 (共著：筆頭)	2024年 3月	保健医療福祉連携 第17巻1号 (日本保健医療福祉連携教育学会)
(学術論文) <u>査読付き</u> 保育士養成課程における施設実習に関する 研究の概観 (単著)	2024年 3月	山梨学院短期大学研究紀要 第44巻
(学術論文) <u>査読付き</u> 保育分野におけるソーシャルワークに関する 研究の概観 (単著)	2024年 3月	山梨学院短期大学研究紀要 第44巻

研究 (つづき)		
2025年3月以前 (主なもの) (つづき)		
タイトル (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(学術論文) <u>査読付き</u> 保育者養成校学生の講義前後における「社会福祉」に対する印象の変化 (単著)	2023年 3月	山梨学院短期大学研究紀要 第43巻
(学術論文) <u>査読付き</u> 弁護士との連携に対する地域包括支援センター社会福祉士の困難感と期待感 (共著：筆頭)	2021年 3月	健康科学大学紀要 第17号
(学術論文) <u>査読付き</u> 地域包括支援センター社会福祉士と弁護士の連携促進のための研修プログラムの作成と効果 (共著：筆頭)	2021年 3月	健康科学大学紀要 第17号
(学術論文) わが国における若年層を対象とした「自殺」に関する研究の概観 (共著)	2021年 3月	健康科学大学紀要 第17号
(学術論文) <u>査読付き</u> 地域包括支援センター職員と司法専門職の円滑な連携推進に向けてー連携に必要な要素の実態把握からー (単著)	2019年 3月	社会福祉士 第26号 (日本社会福祉士会)
(学術論文) <u>査読付き</u> 医療ソーシャルワーカー (MSW) への精神的支援ーメンタリングとスーパービジョンに焦点を当ててー (共著：筆頭)	2019年 3月	社会福祉開発研究 第14号 (日本福祉大学大学院)
(学術論文) <u>査読付き</u> 地域包括支援センター業務における司法ソーシャルワーク機能ー司法専門職との連携機能に関する職種間の認識差に着目してー (共著：筆頭)	2018年 10月	保健医療福祉連携 第11巻2号 (日本保健医療福祉連携教育学会)

研究 (つづき)		
2025年3月以前 (主なもの) (つづき)		
タイトル (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(学術論文) <u>査読付き</u> 司法ソーシャルワーク推進に向けた地域包括支援センター職員と弁護士・司法書士の連携に対する認識 (共著：筆頭)	2018年 3月	健康科学大学紀要 第14号
(学術論文) <u>査読付き</u> 在宅療養者の同居家族が抱える介護負担感と地域包括支援センターへの期待—家族介護教室に焦点をあてて— (共著：筆頭)	2017年 3月	健康科学大学紀要 第13号
(学術論文) <u>査読付き</u> 病院に勤務するソーシャルワーカーが抱える業務上の不安とメンタリングに関する認識 (共著：筆頭)	2016年 3月	健康科学大学紀要 第12号
(学術論文) <u>査読付き</u> 医療ソーシャルワーカー (MSW) が抱える業務上の不安と解消の手立て (共著：筆頭)	2015年 3月	保健医療福祉連携 第8巻2号 (日本保健医療福祉連携教育学会)
(学術論文) <u>査読付き</u> 介護療養型医療施設の看護師・医療ソーシャルワーカーの業務に関する認識—専門職連携に焦点を当てて— (共著：筆頭)	2013年 3月	保健医療福祉連携 第6巻1・2号合併号 (日本保健医療福祉連携教育学会)
(学術論文) <u>査読付き</u> 介護サービス事業所職員の高齢者虐待防止法に対する理解と高齢者虐待対応の認識 (共著：筆頭)	2012年 9月	保健医療福祉連携 第5巻1号 (日本保健医療福祉連携教育学会)
(学術論文) <u>査読付き</u> 介護療養型医療施設の医療ソーシャルワーカーの現状と社会的入院に関する認識 (共著：筆頭)	2012年 3月	社会福祉学研究 第7号 (日本福祉大学大学院)

研究 (つづき)		
2025年3月以前 (主なもの) (つづき)		
タイトル (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(学術論文) 査読付き 介護療養型医療施設の退院調整に携わる看護師・医療ソーシャルワーカーの業務に関する認識とストレス対応力 (SOC) との関連 (共著)	2010年 3月	山梨大学看護学会誌 第8巻2号
(その他：学会発表) 福祉と司法の円滑な連携に関する一考察ー地域包括支援センター職員と弁護士・司法書士との連携に焦点を当ててー (共同：筆頭)	2024年 12月	第20回山梨社会福祉実践学会ソーシャルワーク実践研究発表会 (山梨)
(その他：学会発表) 管理栄養士養成校学生における「社会福祉」の学修の変容 (共同：筆頭)	2024年 11月	第17回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会 (愛知)
(その他：学会発表) 保育士養成課程における施設実習に関する研究の概観 (共同：筆頭)	2024年 10月	第72回日本社会福祉学会秋季大会 (愛知)
(その他：学会発表) 保育者養成校学生の講義前後における「社会福祉」に対する印象の変化 (共同：筆頭)	2023年 10月	第71回日本社会福祉学会秋季大会 (東京)
(その他：学会発表) 保育ソーシャルワークにおける課題の検討ー保育者の認識に焦点を当ててー (共同：筆頭)	2023年 10月	第82回日本公衆衛生学会総会 (茨城)
(その他：学会発表) 保育分野におけるソーシャルワークに関する研究の整理 (共同：筆頭)	2023年 11月	第19回山梨社会福祉実践学会ソーシャルワーク実践研究発表会 (山梨)
(その他：学会発表) 司法書士との連携に関する地域包括支援センター社会福祉士の認識 (共同：筆頭)	2023年 11月	第16回日本保健医療福祉連携教育学会 (愛知)

研究（つづき）		
2025年3月以前（主なもの）（つづき）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（その他：学会発表） 保育者等のスーパービジョンに関する文献 レビュー （共同：筆頭）	2022年10月	第81回日本公衆衛生学会総会（山梨）
（その他：学会発表） 福祉と司法の連携促進のための研修プログラムの作成と効果 （共同：筆頭）	2020年10月	第13回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会（千葉）
（その他：学会発表） 大学生の自殺予防研究における一考察 （共同）	2020年1月	第8回日本公衆衛生看護学会学術集会（愛媛）
（その他：学会発表） 地域包括支援センターにおける地域ケア会議の活用による多職種連携の実践 （共同）	2018年11月	第15回山梨社会福祉実践学会ソーシャルワーク実践研究発表会（山梨）
（その他：学会発表） 地域包括支援センター職員と弁護士・司法書士の「連携」のきっかけと困難感 （共同：筆頭）	2018年10月	第77回日本公衆衛生学会総会（福島）
（その他：学会発表） A県における地域包括支援センター職員と法律専門職の連携活動の比較 （共同）	2018年1月	第6回日本公衆衛生看護学会学術集会（大阪）
（その他：学会発表） 地域包括支援センター社会福祉士の司法ソーシャルワーク連携の実態 （共同：筆頭）	2017年11月	第14回山梨社会福祉実践学会（山梨）
（その他：学会発表） 地域包括支援センター職員と弁護士・司法書士の司法ソーシャルワークに対する認識 （共同）	2017年9月	第10回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会（千葉）

研究 (つづき)		
2025年3月以前 (主なもの) (つづき)		
タイトル (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(その他：学会発表) 地域包括支援センター職員と弁護士・司法書士の司法ソーシャルワークに関連した「連携」の特徴 (共同：筆頭)	2017年 9月	第10回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会 (千葉)
(その他：学会発表) 地域包括支援センター職員と法律専門職の連携活動の実態 (共同)	2017年 9月	第10回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会 (千葉)
(その他：学会発表) 医療ソーシャルワーカー (MSW) の不安に対するメンタリングの可能性 (共同：筆頭)	2016年 8月	第9回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会 (東京)
(その他：学会発表) 同居家族の介護負担感と地域包括支援センターの家族介護教室への期待 (共同：筆頭)	2015年 8月	第8回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会 (東京)
(その他：学会発表) 地域包括支援センター活用に関する介護支援専門員の認識 (共同：筆頭)	2014年 10月	第73回日本公衆衛生学会総会 (栃木)
(その他：学会発表) 介護支援専門員の地域包括支援センターとの連携に関する認識 (共同：筆頭)	2014年 9月	第7回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会 (新潟)
(その他：学会発表) 医療ソーシャルワーカー (MSW) が抱える業務上の不安 (共同：筆頭)	2013年 10月	第72回日本公衆衛生学会総会 (三重)
(その他：学会発表) 高齢者虐待防止に向けた地域包括支援センターと介護サービス事業所職員との連携 (共同：筆頭)	2011年 10月	第4回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会 (神奈川)

研究 (つづき)		
2025年3月以前 (主なもの) (つづき)		
タイトル (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(その他：学会発表) ソーシャルワーク業務に対する不安とメンターの存在との関連 (共同：筆頭)	2011年10月	第70回日本公衆衛生学会総会(秋田)
(その他：学会発表) Recognition of Staff of Nursing Service Office to Elderly Abuse (介護サービス事業所職員の高齢者虐待に対する認識) (共同：筆頭)	2011年10月	The 2nd Japan-Korea Joint Conference on Community Health Nursing (第2回日韓地域看護学会協働学術集会)(兵庫)
(その他：学会発表) 高齢者虐待に対する介護サービス事業所の認識 (共同：筆頭)	2011年7月	第19回日本社会福祉士会全国大会社会福祉学会(京都)
(その他：学会発表) A県内病院ソーシャルワーカーの業務上の不安とメンタリングに対する認識 (共同：筆頭)	2011年2月	第8回山梨社会福祉実践学会ソーシャルワーク実践研究発表会(山梨)
(その他：学会発表) 介護療養型医療施設の社会的入院に対する看護師と医療ソーシャルワーカーの認識 (共同：筆頭)	2010年10月	第69回日本公衆衛生学会総会(東京)
(その他：学会発表) 介護療養型医療施設廃止に伴う医療ソーシャルワーカーの認識 (共同：筆頭)	2010年2月	第7回山梨社会福祉実践学会ソーシャルワーク実践研究発表会(山梨)
(その他：学会発表) 介護療養型医療施設の社会的入院に対する医療ソーシャルワーカーの認識 (共同：筆頭)	2009年10月	第68回日本公衆衛生学会総会(奈良)
(その他：学会発表) 介護療養型医療施設 MSW のストレス対処能力 SOC と役割受容との関連 (共同)	2009年10月	第68回日本公衆衛生学会総会(奈良)

社会貢献

産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等

2025年4月～2026年3月

- 2026年 3月 第5回多世代多地域ごちゃまぜ健康まつり
「ほっとひといき！社会福祉テラスで休けいしよう！」ブース出展
- 2026年 2月 甲府市協働のまちづくりコーディネーター（現在に至る）
- 2026年 2月 令和7年度北杜市成年後見制度利用促進研修 講師
「『人』を理解し、支援する ～意思決定支援に焦点をあてて～」
- 2025年 11月 高大連携プログラム 講師
「人とのコミュニケーションに大切な社会福祉を学ぼう」
- 2025年 11月 山梨県リハビリテーション病院・施設協議会 栄養士部会研修会 講師
「2040年問題を見据え医療・介護・福祉の共生社会を目指して
管理栄養士・栄養士に託されている役割について」
- 2025年 11月 城東病院誕生祭
「ほっとひといき！絵本を読んで休憩しよう～社会福祉の視点から～」ブース出展
- 2025年 11月 こども応援フェスタ お城であそぼ
「ほっとひといき！絵本を読んで休憩しよう～社会福祉の視点から～」ブース出展
- 2025年 10月 令和7年度北杜市市民後見人養成講座 講師 「意思決定支援」
- 2025年 10月 令和7年度放課後児童支援員認定資格研修 講師
「子ども家庭福祉施策と放課後児童クラブ」
- 2025年 9月 令和7年度放課後児童支援員認定資格研修 講師
「放課後児童健全育成事業の一般原則と権利養護」
- 2025年 9月 やまなし市民後見人養成基礎講座 講師 「対人援助の方法」
- 2025年 9月 山梨県立笛吹高等学校 系統分野別出前授業 講師
「保育士養成に必要な科目の1つである『社会福祉』を絵本から学ぼう！」
- 2025年 9月 FD研修会 講師 「社会福祉学を身近に感じる講義の工夫」
- 2025年 7月 令和7年度甲府市顔の見える関係づくり交流会 ファシリテーター
- 2025年 6月 甲府市出前講座 知っていますか？在宅療養 研修会 講師（北新地区愛育会）
- 2025年 4月 山梨県医療的ケア児等支援検討会議委員（現在に至る）
- 2025年 4月 甲府市社会福祉審議会臨時委員（高齢者福祉専門分科会所属）（現在に至る）

2025年3月以前（主なもの）

- 2025年 1月 令和6年度北杜市役所第4回地域連携ケア会議 講師 「意思決定支援とACP」
- 2024年 12月 日本司法書士会連合会高齢者の権利擁護部会意見交換会
- 2024年 11月 有限会社グットケアー ヘルパー社内研修 講師
「チームアプローチ研修～円滑な多職種連携に焦点をあてて～」
- 2024年 11月 昭和町議員研修会 講師 「高齢者分野からみる昭和町における地域福祉の推進」
- 2024年 11月 やまなし市民後見人養成基礎講座 講師
「自己覚知・傾聴共感・対人援助コミュニケーション」

社会貢献（つづき）

産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等

2025年3月以前（主なもの）（つづき）

2024年10月	やまなし市民後見人養成基礎講座	講師	
			「生活保護制度概要・生活困窮者自立支援制度」
2024年10月	やまなし市民後見人養成基礎講座	講師	「介護保険制度の概要」
2024年10月	令和6年度放課後児童支援員認定資格研修	講師	
			「子ども家庭福祉施策と放課後児童クラブ」
2024年9月	令和6年度放課後児童支援員認定資格研修	講師	
			「放課後児童健全育成事業の一般原則と権利養護」
2024年7月	甲府市出前講座	知っていますか？在宅療養	研修会 講師（湯田高齢者学級）
2024年7月	甲府市出前講座	知っていますか？在宅療養	研修会 講師（酒折みどり会）
2024年4月	有限会社グット케어	ヘルパー社内研修	講師
			「訪問介護員の専門性～専門職の価値と倫理の視点から～」
2024年4月	第20回山梨社会福祉実践学会・ソーシャルワーク実践研究発表会	実行委員長	
2024年4月	甲府市地域包括支援センター運営協議会委員		（現在に至る）
2023年11月	甲府市防災リーダー	登録	（現在に至る）
2023年9月	山梨県災害派遣福祉チーム（山梨 DWAT）	登録	（現在に至る）
2023年4月	甲府市介護認定審査会審査委員		（現在に至る）
2023年4月	甲府市在宅医療・介護連携推進会議	代表者会議委員	（現在に至る）
2023年4月	甲府市在宅医療・介護連携推進会議	多職種連携ワーキンググループ委員	（現在に至る）
2023年4月	笛吹市高齢者虐待防止ネットワーク委員会委員		（2024年3月まで）
2023年1月	日本司法書士会連合会高齢者の権利擁護部会会議	アドバイザー	
2023年1月	第18回山梨県社会福祉実践学会	ソーシャルワーク実践研究発表会	座長
2022年8月	大学コンソーシアムやまなし	未来の学び（小学生のための生涯学習講座）	講師
2022年4月	第18回山梨県社会福祉実践学会	ソーシャルワーク実践研究発表会	研究支援アドバイザー
2021年3月	山梨県峡東保健所	看取りに関する調査・分析作業	助手
2020年2月	令和元年度	忍野村地域ケア会議	研修講師
2019年12月	山梨県峡東保健所	看取りに関する調査・分析作業	助手
2019年12月	令和元年度	第4回 富士北麓地域介護支援専門員研修会	講師
2019年10月	令和元年度	山梨県障害者虐待防止・権利擁護研修	実践編 ファシリテーター
2019年7月	令和元年度	山梨県障害者虐待防止・権利擁護研修	基礎編 ファシリテーター
2019年3月	第32回日本保健福祉学会	学術集会（山梨大会）開催運営委員	（2019年10月まで）
2018年7月	平成30年度	山梨県障害者虐待防止・権利擁護研修	基礎編 ファシリテーター
2018年5月	第15回	山梨社会福祉実践学会	研究支援セミナー 講師
2017年5月	第14回	山梨社会福祉実践学会	研究支援セミナー 講師

社会貢献（つづき）	
産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等	
2025年3月以前（主なもの）（つづき）	
2016年5月	第13回 山梨社会福祉実践学会 研究支援セミナー 講師
2013年11月	健康科学大学 高齢者に対する支援と介護保険制度 ゲスト講師
2013年10月	第11回 山梨社会福祉実践学会 プレ大会セミナー Aコース 講師
2012年8月	山梨県立大学 看護実践開発研究センター 看護職のための統計学基礎講座 助手
2012年1月	健康科学大学 社会福祉士国家資格対策講座 高齢者に対する支援と介護保険制度 講師
2011年12月	健康科学大学 地域福祉の理論と方法／相談援助の基盤と専門職 ゲスト講師
2010年10月	山梨県リーガルサポート勉強会 講師
受賞 ※個人、所属団体	
2023年11月	第16回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会 優秀ポスター賞（IPWの研究） 受賞
2008年12月	業務改善委員会表彰（医療法人慶友会城東病院）